

岡山大学と地理学教室をめぐる最近の話題

内田 和子

卒業生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。今年も「教室便り」をお送りする時期となりました。大学はセンター試験（1月17日・18日）、卒論・修論の締め切り（2月2日）、定期試験など、忙しい季節となりましたが、教員・学生一同がんばっています。

今年の成人式は平成生まれの人たちが加わり、大学生も平成生まれが多くなっています。わが地理学教室にも新たな2年生・7名が加わって、久しぶりに賑やかになりました。その中に、かつてこの地理学教室で学んだ卒業生の息子さんを発見して、大変嬉しい驚きでした。小さなお子さんをもつ卒業生から、「この子も岡大に入れるといいのですが」と言ってくださる場合も多くあり、思わずニコニコとしながら、とてもその頃まで在職していない自分の年齢に愕然としてもいます。

話は変わって、昨年10月の「週刊・東洋経済」に「本当に強い大学—激化する大学間競争—」という記事がありました。強まる東京志向とか定員割れの私立大学が4割超とか18才人口の減少が続くとかの一般的傾向の他に、大学ランキングトップ100の記事がありました。既に、この記事をご覧になった方はご存じと思いますが、岡大はランキング71位でした。岡大関係者の感触では、ランキングからいうとだいたい30位前後くらいというのが常識的な見方でしたから、かなりショックな数字でした。ちなみに、一昨年のランキングでは33位でした。科学研究費の獲得額でほぼ同じ千葉大学（18位）と比べて、大きく異なるのはGP等の採択数（千葉大は岡大の3倍数）、経常利益率（ $[\text{経常利益} \div \text{経常収益}] \times 100$ ）と自己資本比率（ $[\text{資本合計} \div \text{資産合計}] \times 100$ ）の3項目でした。経常利益率では千葉大が2.1に対して、岡大が1.2、自己資

本比率ではそれぞれ79.0と58.3でした。要するに、岡大の方が経営状態が良くないということなんでしょうか？毎年、国からの運営費交付金が1%ずつ減らされていますので、今後は国立大学といえども上手な経営をしないと示唆かと感じています。もちろん、「海外先進教育実践支援」とか「現代的教育ニーズ取組支援」などのGPに採択されるよう、教員も学生も努力しなくてははいけません。

また、ランキングの上位には豊田工業大学、金沢工業大学など、経営がしっかりしていて、特色ある教育を行い、就職率も高い大学が入っています。こうした大学の姿を見るにつけても、岡大生は地元で成績優秀な学生というだけでなく、岡大を卒業したからには〇〇の力がついてるとか、〇〇が身につけているとかの、大学での教育成果が評価されるようになりたいと感じます。それと学生自身も入学時に目標をもち、それが卒業時にどこまで達成され、達成に大学はどの程度関与できたかを評価することも重要と思います。

世間では、地理は相変わらず冷遇されています。それは本当の地理学の姿を知らないためであることが多いようです。そうした中で、地理を学ぶことによって卒業生達は地域を分析する力が備わり、それぞれの就職した地域でうまく生きていけるのではないかと、いささか我田引水ながら思っています。

どこかで地理の学生やまだ若い卒業生をお見かけした際には、どうかお声をかけて叱咤激励して下さいよう、お願いいたします。

教室動静 (2007年1月～2008年1月)

●大学院修了生・学部卒業生と進路

2008年3月に、大学院生1名が修了し、学部生7名が卒業いたしました。

【修了】

- ・原田 貴己 (はらだ たかみ)

【卒業】

- ・青木 努 (あおき つとむ)
- ・伊藤 裕実 (いとう ひろみ)
- ・平岡 由佳梨 (ひらおか ゆかり)
- ・佐々木 優太 (ささき ゆうた)
- ・矢口 俊治 (やぐち としはる)
- ・豊倉 ちさと (とよくら ちさと)
- ・山下 理恵 (やました りえ)

卒業生は、公務員や金融、書店、運輸、衣服メーカー、教育産業など、多様な業種に就職致しました。地元に戻るものや地元に戻らず岡山に就職したもの、広島や大阪へ出て行ったものなど、新しい生活を送っているようです。ここ数年、就職状況はかなり良いようです。

●新たな構成メンバー

2008年4月に大学院生が1名加わり、大学院生(博士課程前期および後期)は3名となりました。また、2008年10月に7名の2回生が教室の構成メンバーとして加わり、学部生は15名を数えています。皆、元気いっぱいにあちらこちらへ出かけているようです。2～4回生合同の授業は、科目名は変わりましたが、相変わらず「諸問題」として全員参加の授業を地理学実験室にて行っております。最近は発表方法も変わり、紙媒体ではなく、パワーポイントを使用した発表が多くなりました。

●2008年地理学談話会

2008年度の地理学談話会は平成20年9月20日(土)13時30分より、岡山大学文学部 文法経1号館3F文学部会議室にて行いました。



当日は、由比濱省吾先生に「津田永忠の事跡と世界遺産指定運動」と題してご講演いただきました。多くの資料をご呈示頂き、充実した談話会となりました。



その後、学部生による「尾道市の現状と課題」についての報告がございました。ここでは、卒業生の皆様方から多くのご意見を頂き、学部生も大変勉強になったようです。



この度の談話会は由比濱先生門下の卒業生の皆様方に多数お集まり頂くことができ、大変にぎやかな談話会となりました。



来年度の談話会も秋頃の開催を予定しております。是非とも多数の卒業生の皆様方にお越し頂くよう心よりお待ち申し上げます。なお、日程が近づきましたら、別途、ご案内申し上げます、また、教室ホームページにも掲載致しますのでごらん頂ければ幸いです。

●行動科学実験調査演習(旧 地理学野外実習)

授業科目に「地理学」を付した授業科目が少なくなりつつありますが、フィールドワークを基礎とした実験・演習科目は継続しております。2008年は、岡山市岡南地区を対象地域として実習を行っており、現在、聞き取り調査などを進めております。次回の談話会の際には報告書としてお渡しできるものと思います。その節はご笑覧頂ければ幸いです。また、夏期休暇中には熊本県へ巡検にまいりました。

教室構成メンバー

氏名(よみ・出身地・出身校)

●教授

内田 和子(うちだ かずこ)

●准教授

北川 博史(きたがわ ひろふみ)

2008年は、メルボルンへ調査に参りました。初めて滞在致しましたが、リバブルシティとして知られているだけあって大変居心地の良い街でした。ただ、メルボルン大の中国人留学生の多さに大変驚きました。

●博士課程後期 D3

高野 宏(たかの ひろし・東広島市・岡山大学大学院)

好きなものはとことんまで食べるたちです。今年は牡蠣にはまってしまい、12月下旬から軽自動車の日生や虫明に通いつめました。殻付き牡蠣を買い込んで、蒸し牡蠣にして食べるのですが、今シーズンは一人で300個は食べたでしょう!!!しばらくは牡蠣を見たくも、触りたくも、嗅ぎたくもありません……。さて、次は何

を食べよっかなあ。

●博士課程後期 D1

曾我 とも子 (そが ともこ・西宮市・兵庫教育大学大学院)

岡山大学に来て、1年が過ぎようとしています。同じ国立大学でも、それぞれ大学によって特徴があるなと思いました。初めて岡大の研究室を見た時、「古い…」と思いました。都心の国立大学の近代的な建物を見た後では、「地方への国の予算が回らないのかな…」と、思わず思っていました。暑い夏には、抵抗するエアコンとの格闘があります。そんな岡大の建物も周りを見渡すと少しずつ新築されています。「わずかな間でもいいので、せめて在籍中に文学部の建物が新築されれば…」というのが密かな願いです。でも、岡大の地理学研究室にとって、何よりも頼りになることは、先生方の部屋が目と鼻の先にあるということです。「疑問→相談→即回答」建物よりも何よりも学生にとっては、それが一番ですね。

●博士課程前期 M2

塚本 僚平 (つかもと りょうへい・香川県琴平町・岡山大学文学部)

昨年の年末から今年はじめにかけて、インフルエンザにかかってしまいました。久しぶりに39℃も熱が出てびっくりすると同時に、正月の華やかさが縁遠いものを感じられました。熱がある時に自分でご飯をつくったり、洗濯したりするのは何だか虚しい感じになってきますし…。来年は元気に正月を迎えて、実家で“白味噌&餡餅”の雑煮を食べたいと思います。

●4回生

伊藤 さつき (いとう さつき・兵庫県高砂市・姫路西高)

野津 雄治 (のつ ゆうじ・松江市・松江東高)

夏の話になるのですが、卒業旅行という名目

でタイ王国に行ってきました。初めての海外・飛行機搭乗ということもあり、旅をする前夜はかなり緊張していましたが、いざ現地ではなかなか良い思い出ができました。印象に残っているのは、首都の歩道を僕の背丈(170cm)ほどもある子ゾウが普通に歩いていた事です。土地・国の違いを肌で感じるというのはこの上なく興味深いものだと思います。

最近卒業が間近となり、この地理学教室から離れる事を考えるとかなり寂しいです。この教室で学んだ事を社会で生かされるよう、4月からは仕事を頑張りたいと思います。

野々田 泰章 (ののだ やすあき・岡山市・福山誠之館高)

岡山大学の院に進学します。(合格していれば)なので是非岡山に遊びに来てください。

藤原 潤 (ふじはら じゅん・松江市・松江東高)

最近卒業が近づいていることもあって大学生活でやり残した事についてよく考えます。まず卒論。これは修正して後輩に見せても恥ずかしくないものに仕上げたいです。聞き取り先にも送らなければいけないのに……語彙力のなさを恨んでいます。次に読書ですね。学生のくせにほとんど本を読まずに卒業を迎えようとしています。残り2ヶ月、できるだけ多くの本を読みたいです。語彙力もつきまますしね!

山田 純平 (やまだ じゅんぺい・兵庫県佐用町・佐用高)

●3回生

猪原 和也 (いのほら かずや・富山県砺波市・福野高)

ただいま、9月の熊本巡検の報告書の作成中です。締め切りは12月中だったので、やる日にはかなり時間をかけてガッツリして、やら

ない日は全くやらないという状態なので、なかなか終わりません…。こんな性格に嫌気がさしますが、口よりも手を動かして、この地理学教室だよりが出来るときにはとっくに完成している、という状態にしたいです。

また、現在就職活動中です。経済危機だの派遣切りだの、社会情勢は厳しくなっているようですが、このご時代だからこそ前向きに希望を持って頑張っていきたいです。

田畑 祐介(たはた ゆうすけ・島根県浜田市・浜田高)

現在就職活動真っ只中、徐々に精神的に病んできている今日この頃。終わりの見えないレースの辛さというものを実感しつつ、なんとか元気でやっています。昨今の報道等でご存知の方も多いと思いますが今年から就職状況が厳しくなっているとの事なので「何で自分たちの代からなんだよ、ツイてねーな」と思いつつも、泣き言言っても仕方ないので精一杯がんばりたいと思います。どこかの良い企業さんといいご縁がありますように…。

原 史子(はら ふみこ・島根県出雲市・出雲高)

先日、久々に岡大近くの洋食店へ行きました。お店のメニューは680円の定食ひとつ。店員さんが1人なので料理はスープから一品ずつ出てきて、全て食べ終わるのに平均2時間かかります。味は抜群ですが、量が相当あるので私は減多に完食できません。お客さんは常連さんが主で、お一人様も多いです。人とゆっくり話したいとき、マンガを沢山読みたいとき、胃に余裕があるときにはおススメです。因みに、食べ切れない時は残りをテイクアウトできることもあるのでマスターに聞いてみて下さい。

●2回生

井野川 真希(いのかわ まき・岡山市・芳泉高)

友人とスノボに行く日の朝のこと。なんと電車に乗りそびれてしまいました。バスのツアーだったので慌てたのですが、友人の知人が

集合場所まで送ってくれるとのことで一安心。ところがギリギリで断られ、急遽タクシーで高速に乗り、バスを先回りしてインターで

待つことに。どんどん上がっていくメーター、高鳴る鼓動…凄い値段が飛び出すぞと二人して覚悟を決めたその時！おじさんの手が

メーターへと伸び、メーターが真っ暗に！結局ほぼ半額で乗せて頂きました。人の温かさを感じ感動した2009年の始まりでした。

岡本 亜美(おかもと あみ・倉敷市・倉敷南高)

寒いのが苦手です。岡山でさえ冬はコート、マフラー、手袋、耳あてが手放せません。きっと私は雪が降る地域では暮らしていけません。しかし12月に手袋の片方を、そしてこないだ耳あてをなくしてしまいました。寒い。またセールで買おうかと検討しています。春が待ち遠しい。

今年の春休みには近場を観光しよう、と思っています。友人に青春18切符旅行に誘われているので、ぶらり広島or鳥取食い倒れツアーをする予定です。愛するトルコは卒業旅行にでもとっておこうかな。

加地 健(かじ たけし・岡山市・操山高)

沙村広明さんの漫画『無限の住人』を集めています。『バガボンド』だけがネオ時代劇ではありません。『バガボンド』の陰に隠れているせいなのか分かりませんが、意外と知名度は低いです。でも『バガボンド』と唯一対抗できる時代劇漫画が『無限の住人』であることは間違いなしでしょう。ただ、ものすごくドギツイ描写があったりするので心臓の弱い人は読まない方がいいです。僕は二回、心臓が止まりそうになりました。誰だ、「ホントに止まれば良かったのに」と思ってるやつは。

金原 佑輔 (きんぱら ゆうすけ・静岡県浜松市・浜松日体高)

こんにちは。最近、眼鏡を踏んで壊してしまったため買い替えました。新しい眼鏡は前に比べ少し度が上がったので、より clear な視界を手に入れることができました。新しい眼鏡で外に出ると、何もかも clear に見え新鮮です。新鮮に感じることはとても気持ちのいいことですよ。そこで私は今年のテーマを新鮮にしたいと思います。何事にも新鮮な気持ちで物事に取り組みます。まず、新鮮な気持ちで課題に取りかかろうと思います。よろしくお願ひします。

高木 洋 (たかぎ よう・福井県上中町・若狭高)

こんにちは。高木洋と申します。でも最近、兄の意向で苗字が変りましたので、本当は村崎洋です。

誰しもそうかと思ひますが、近頃不安が後を絶ちません。何もしていなひのに疲れたり、疲れているのに眠れなかったり、心安まる時がありません。いっそのまま家に閉じ籠り、一人きり何の悩みも持たずに本でも読んで暮らしたらどんなに良いかと思ひます。

テスト期間中にノートを紛失しました。パソコンが壊れました。家の前で事故がありました。けたたましくサイレン鳴らして来たはいいけど救急車、現場に居着いて帰りません。きっと病院に搬送するまでもなかったのではせう。

部屋の電球が切れかかっています。

村本 早希 (むらもと さき・大阪府吹田市・千里高)

近頃、無性にハワイへ行きたいです。本格的に寒くなってきたから、本能が暑い所を求めているんですね。とはいえ、行きたいと思っても行けるだけのお金があるはずもなく、でもあきらめきれなくて、先日マスクでまっふるが出版している観光本を買ってしまいました。この本で改めて「ハワイは魅力的な場所だ! (☆0☆)」と確認し、さらに行きたくなりました。行きもしないのに観光本を買ったので、友達からはお金の無駄遣いだとすごく批判をされますが、いいんです。心はワイキキビーチで海水浴してるから (妄)

森田 忠宏 (もりた ただひろ・滋賀県高月町・虎姫高)

本年度より地理学教室でお世話になってます2回生の森田忠宏と言ひます。よろしくお願ひします。岡山からはだいぶ遠く離れた滋賀県の北部、湖北という地域からやってきました。

小学校から野球をしていて、大学でも硬式野球部に所属しています。正直大学に入学してからここまでの2年間にはほぼ野球しかしていない気がします。このままでは野球のみの大学生活になりそうなのですが4年までしっかり野球を続けていこうと思ひます。でもこれからは、野球だけでなく地理のほうもしっかり勉強していきたいと思ひます。

2007 年度修士・卒業論文一覧

●修士論文

・原田 貴己

社会人大学院生の生活活動パターン—岡山大学大学院社会文化科学研究科を事例として—

●卒業論文

・青木 努

長野県における山葵産地の生産と流通の構造—安曇野市を事例として—

- ・伊藤 裕実
島根県八束町大根島におけるボタン栽培の実態と近年の変化
- ・櫛橋 紀子
地方小規模花卉栽培地域の産地構造—岐阜県恵那地域のシクラメン生産を事例として—
- ・佐々木 優太
更新世末期以降の岡山平野における地形発達
- ・豊倉 ちさと
観葉植物産地の拡大過程における栽培形態の分化—鹿児島県指宿市を事例として—

- ・平岡 由佳梨
土佐打ち刃物産業の現状—土佐山田地区を事例に
- ・矢口 俊治
代替バス運行が地域に与える影響—石川県・のと鉄道の廃止を事例として—
- ・山下 理恵
1970年代以降の干拓地農業の変化—藤田地区を事例として—

熊本巡検—2008年度「地理学実験調査演習」—

室長 猪原 和也

2008年9月11日から13日にかけて、3年生3人、4年生4人、院生2人と北川先生の合計10人で、熊本巡検に行って来ました。13:00に熊本駅 am. pm 前に現地集合だったので、前日まで先輩方に連絡が行き渡っていないという失態を犯しつつも、何とかスタートしました。初日、3年生は原さんがこの日は聞き取り調査中で夜に合流し、田畑君も途中で熊本市役所に聞き取り調査で途中抜け・合流するなどあわただしくメンバーが入れ替わる中、まずは路面電車に乗って水前寺公園へ。平日ということで人はまばらでしたが、中国人の方を比較的多く見た気がします。国際色豊かです。



田畑君と合流し、熊本城へ。城郭はかなり大きく、天守閣までかなり段差を上った気がします。天守閣も大きく立派なもので、岡山城とは大違いでした。さらに、築城400周年イベントに向けて城内は活気づいておりました。

お城見学を終え、歩いてホテルへ。その後、原さんが合流し藤原さんが予約していた郷土料理のお店へ行きました。やや高いお店だったのですが、当初設定していた一人あたりの金額のボーダーをあっさりと撤廃し、馬刺や辛子蓮根などの郷土料理をお腹いっぱい堪能しました。少々お金をかけてもその土地の名産を食べられたことに満足し、1日目は終わりました。

翌朝、JA菊池と阿蘇山へ向けてレンタカーを借り、野々田さんと北川先生の運転でホテルを出発。JA菊池では、オリジナルブランドの開発や直営店の運営などについてのお話を聞き、熊本の農業は元気だなどという印象を受けました。農業というと失礼ながら衰退気味というイメージが強かったのですが、このあたりの農家の人はガッツリ農業で生計をたてているようです。

その後、少し離れたところにある家畜のフンの再利用をする、大型の施設を見学しました。そこでは集められた大量の家畜のフンに圧倒さ

れたり、またそこから出来た肥料や無臭のペレットを実際に触ってみたりと、巡検ならではの生の体験が盛り沢山でした。



菊池の次は、阿蘇山へ向かいました。ぐんぐん山を登り、やがて木々が姿を消し、馬が放牧されている草千里を通り過ぎ、阿蘇山ロープウェイ乗り場へ。さらにロープウェイから火口のすぐ横まで行きました。阿蘇山は活火山で火山ガスが大量に吹き出しており、私はぜんそく持ちで発作を起こし、山田さんと一緒にその場を離れましたが、一行は噴火口のまわりのルートをじっくり見学。土と岩しかない荒涼とした火口と、火口湖の淡い水色のコントラストが美しく、大きな地層の縞模様や絶え間なく吹き出る水蒸気など、大自然が作り出した地形の迫力に圧倒されました。



阿蘇山を見終わり熊本市内へ戻ってきて、最後に藤崎宮というやや大きな神社へ立ち寄りました。みんなでお祈りをし、「奥さんと別れてくれますように」などと書かれた絵馬に衝撃を受けつつも、この日も無事ホテルに帰りました。

3日目は、3回生の各自の調査もあり、朝で各自解散となりました。3回生は聞き取りや図書館へ資料探しなど、最後の調査を行うと同時に、先生や先輩達はそれぞれ自由に行動したそうです(宮本武蔵が晩年にこもった洞窟へ行った先輩もいました)。帰りはバラバラでしたが、みな無事に帰ってきました。

最後に感想ですが、私たち3回生にとっては初めての巡検で、実際に見学したり、話を聞いたりして、地理学教室の醍醐味を味わう大変有意義な機会になりました。この経験を、是非今後活かせたらと思います。

地理学教室からのご連絡

○地理学教室ではホームページを開設しております。最近のトピックスや研究会のご案内などを行っております。ホームページアドレスは

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/geog/01geo.html> です。

また、同窓会のホームページ

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/geog/08dou/index.html> も開設しております。同期会の案内などにもご利用下さい。お問い合わせは北川までお願いします。メールアドレスは

hkita@cc.okayama-u.ac.jp です。

○前回、宛先不明の卒業生の方々の情報をご提供頂きましてありがとうございました。お陰様で、十数名の方々に新たに「教室だより」をお送りすることができることとなりました。

その後、2008年度地理学談話会のご案内をお送りしました際に、次ページの卒業生の方々につきましては、宛先不明にて返送されて参りました。ご面倒をおかけ致しますが、ご存じの方がいらっしゃいましたら是非とも地理学教室までお知らせ頂ければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

氏名	敬称	連名	敬称	卒業年	氏名	敬称	連名	敬称	卒業年
今川 浩一	様			1954	鶴田 英一	様			1990
佐藤 公一	様			1957	峯 猛	様			1991
岡 尚志	様			1960	岩本 和恵	様			1992
葭本 鶴江	様			1960	河村 信男	様			1992
石川 史士	様			1963	近江 貴治	様	夏恵	様	1993
黒田日出国	様			1965	岡本 正照	様			1993
槌本 皓矢	様			1968	武知 知子	様			1994
三宅 勝久	様			1968	山本 康則	様			1994
横井 知昭	様			1969	上野真由子	様			1995
山田 利明	様	京子	様	1973	清水 賢作	様			1995
守下 智昭	様			1974	福田 里夏	様			1995
佐藤 節子	様			1976	星加 建司	様			1995
山本千枝子	様			1976	安本 葉子	様			1995
杉浦 利之	様			1977	宮地 重幸	様			1996
砂本 邦彦	様			1977	磯田 恭介	様			1997
高橋 正雄	様			1977	佐藤 英之	様			1997
渡辺 秀一	様			1977	寺崎 崇	様			1997
安田 衛史	様			1978	中澤 勇治	様			1997
豊島 昌之	様			1979	森川 大輔	様			1997
矢吹 正雄	様			1979	千葉 一也	様			1997
衛藤 博朗	様			1981	清水 珠美	様			1999
大久保 誠	様			1981	牧野 岳	様	美里	様	1999
馬場 雅洋	様			1982	後藤 将史	様			2000
村松 明子	様			1982	辻 陽子	様			2000
藤本 倫夫	様			1983	濱上 光司	様			2003
横浦 勇	様			1983	岡本 健裕	様			2004
萩原 浩	様			1985	松本 充康	様			2006
岡本 尚之	様	京子	様	1986	夏 茂林	様			2007
宮川 優子	様			1986	川道 弘太	様			2007
山本 圭	様			1989	佐々木 優太	様			2008